

科目名	英語コミュニケーション論			担当教員	クロスビー ロナルド	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1EEC101
期待される学修成果	教科教育 学校と社会					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	テーマ： 文化・アイデンティティ・メディア・ソーシャルメディアなどの具体的事例を通して、コミュニケーションを「意味を創る過程」として理解する。 到達目標： コミュニケーションが文脈・文化・アイデンティティに影響される過程であることを説明できる。 メッセージの生成・解釈・誤解に影響を与える要因を理解できる。 基本概念を用いて日常的な事例を分析できる。 メディアおよびソーシャルメディアが意味形成に与える影響を説明できる。 自身のコミュニケーション行動を批判的に振り返ることができる。					
授業の概要	本授業では、コミュニケーションを日常生活における「意味の創造過程」として捉え、文化・アイデンティティ・メディア・ソーシャルメディアなどの具体的事例を通して理解を深める。抽象的理論の説明にとどまらず、実際の事例分析や討論を通して、メッセージがどのように形成され、解釈され、時に誤解が生じるのかを学ぶ。現代社会におけるコミュニケーションの特徴を実践的に考察することを目的とする。 【Use of Digital Technologies: Applicable Numbers: ④⑤】					

授業計画	
第1回	Course introduction; overview of communication as meaning-making; syllabus explanation.
第2回	Communication as a process; basic models; sender, receiver, context, and feedback.
第3回	Communication and culture; how cultural norms shape interpretation.
第4回	High-context vs. low-context communication; cross-cultural misunderstandings.
第5回	Communication and identity; how identity influences message creation.
第6回	Self-presentation and impression management in everyday communication.
第7回	Stereotypes, bias, and perception in communication.
第8回	Communication and traditional media; framing and audience interpretation.
第9回	Media influence on public opinion and meaning construction.
第10回	Critical analysis of media messages; identifying perspective and bias.
第11回	Communication and social media; algorithmic influence and audience design.
第12回	Online identity and self-branding; authenticity vs. performance.
第13回	Digital misunderstandings; viral communication and context collapse.
第14回	Comprehensive review; concept integration; test preparation.
第15回	Final written test.

事前学修	2時間	毎回配布するハンドアウトを事前に読み（約20～30分）、重要語句や基本概念を確認する。テーマに関連する自分の経験を考え、授業内の討論や活動に備える。
事後学修	2時間	授業後はハンドアウトとノートを復習し（約30～60分）、重要概念を整理する。学んだ内容を日常の具体例と関連づけて振り返り、理解を深める。

フィードバックの方法	Feedback will be given weekly to student throughout the class.
------------	--

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	25%	授業の参加度
定期試験	75%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
n/a	n/a	n/a	n/a	No textbook will be used. Weekly hand outs will be given.
参考資料				